

SSH通信

～第Ⅲ期 新しい挑戦を楽しもう！～

No.3 発行 2023.12.15

★各種フィールドワーク・研修★

7～8月にかけて、希望生徒を対象としたフィールドワークや研修が実施されました。トップレベルの研究設備にふれ、理数系分野の興味関心を高めるつくば研修、世界遺産である白神山地の豊かな自然のなか、地形や生物の観察調査を行う白神フィールドワーク、そして、南三陸ネイチャーセンターの協力のもと、干潟の多様な生物種の同定や化石採集を経験できる南三陸フィールドワーク。知的好奇心をくすぐる数々のフィールドワークを経て、本校生徒が感じ、学んだものをご覧下さい。

つくば研修を通して（1年普通科）



3日間にわたるつくば研修では、筑波宇宙センターや高エネルギー加速器研究機構など、普段見ることの出来ない様々な施設に伺いました。産総研の富永淳二研究員の講演や筑波大生の生の声を聞くことができ、とても貴重な体験ができました。研修の後は、学んだことを発表するため、グループに分かれてポスター展示と口頭発表の準備を行いました。この研修を機に、クラスを超えてのバスでの会話などで普段話することがない人たちと話すことができました。この研修には、理数系領域への興味関心を深化するという目的があります。文系志望の私でも、新たな視点を得られたり、成果を発表するときのコツを掴めたり、楽しめたり、参加してよかったと思える充実した研修になりました。（1年普通科 小野結椛 附属中出身）

白神フィールドワークでの経験（2年普通科）

8月7日から8月9日の3日間、白神山地でフィールドワークを行いました。今回のフィールドワークでは毎木調査、ウミホタルの生態観察、日本キャニオンの成り立ち、磯の生物観察、十二湖の地形観察の5つの活動を行いました。山の奥に入ったり、海の中に入ったりと普段の生活ではまず体験することができないことを3日間でたくさん経験することができました。また夜にはみんなで星空を見たりしながら親睦も深めていきました。今回の経験は私の中ですごく印象に残るものとなり、充実した時間を過ごすことができました。（2年普通科 富樫治 東仙台中出身）



はじめてのフィールドワーク in 南三陸（1年理数科）



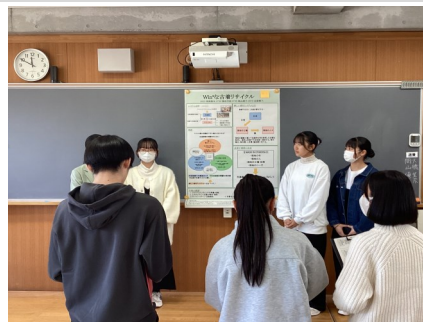
当日は生憎の雨で楽しみにしていた干潟の生物調査と化石採集ができるか不安だったが、予定通り行うことができた。南三陸高校と合同で行った干潟の生物調査では30分で39種の生物を見つけた。南三陸ネイチャーセンターで職員の阿部拓三さんをはじめとする多くの方々に手伝ってもらいながら種同定を行った。一生懸命探したゴカイ類が同じバケツに入れていたカニに食べられるというハプニングがあり、衝撃的だった。昼ごはんは友人とさんさん商店街で楽しく食べた。午後の化石採集では無数の石片の中から化石を探した。美しいアンモナイトの化石を見つけたときは嬉しかった。干潟の生物調査、化石採集、事前事後学習、ポスター作成、発表、を通じて他クラス、他学年の人と交流することができ、貴重な体験となった。（1年理数科 齊田萌桃 加茂中出身）

★イノベーションフェスタ★

11月9日（木）に、本校で『イノベーションフェスタ～三高探究の日』を実施しました。県内外から多くの高校生、大学生、民間企業を迎え入れ、本校2学年の探究活動や自然科学部の研究内容を発表し合うことができました。またタイの高校生が対面で、台湾の高校生がオンラインで本校2学年理数科と英語による発表交流を行うなど、国内の枠を超えて活発な意見交換や議論を行うことができ、今後の研究にとって多くの収穫を得られる一日となりました。

イノフェスをうけて（2年普通科）

11月9日にイノベーションフェスタが開催されました。2年生が中心となってポスター発表や、理数科の英語の口頭発表を行いました。まだ不十分なところもありましたが、3年生の先輩方や来賓の方々からのアドバイスを受け、新たな視点や今後更に必要となる検証などを知ることができ、とても有意義な発表となりました。また、他の班の探究テーマもどれもとても興味深く、ポスターのまとめ方や発表の方法の工夫も参考になるものが多く、今後の発表に活かしていきたいと思いました。イノフェスでの反省を活かし、今後の探究活動をより高めていきたいと思ひます。（2年普通科 大橋千咲 西山中出身）



圧倒的達成感（2年理数科）



イノベーションフェスタは、探究活動の成果を伝え合うとても活発な行事です。午前中にはポスター発表、午後には英語でのスライド発表があります。実際、私の英語のスライド発表では様々な国の方々が私たちの発表を見に来てくださったのでとても緊迫感がありました。ですが、質疑に答えられると、そういった緊迫感というものが達成感に変わり、とても良い経験ができたと思ひます。この達成感というのは自分の自信へとつながるものでした。12月には台湾での英語発表があるのでこの経験を糧にし、良い発表ができるように頑張りたいと思ひます。（2年理数科 青木駿和 多賀城中出身）

★わくわくサイエンス★

本校では、地域の小学生に科学への興味関心を持つきっかけ作りとして、出前授業やフィールドワークを通じて本校生徒が小学生とともに活動するイベントを行っています。先日行われた2つの活動内容をご紹介します。

わくわくサイエンスを通じて（1年普通科）

私たちは、児童に科学への興味を広げてもらう取り組みとして、わくわくサイエンスを実施しました。例年、手軽に行える実験を児童とともに行って、地域内での交流も深めながら、活動を行っています。私たちが思い浮かべる性質とは異なる性質のそれを自らの手でつくり出して疑問や驚きの感情を持ってもらうことを目的に、今年度の本活動では、スライムを用いた実験を行いました。交流時には、本校生徒と児童が楽しげなやり取りを交えつつ、作り方などを親身に教えており、地域内での「交流」と科学への「興味」という2つの目的を、どちらも達成できました。また、帰り際には児童から感謝を述べられて、この活動に意義を感じることができました。（2年普通科 工藤優之介）



グリーンアドベンチャーを通して（1年普通科）



私は、わくわくサイエンス(時習の森グリーンアドベンチャー)に参加しました。このイベントでは小学生と一緒に三高の時習の森に入って葉を採集しました。そしてその葉の種の同定を行ったり、葉拓を作ったりしました。私は種の同定を正確に行うために、歯の縁や葉脈などをよく観察しました。今回のように葉をよく観察したのは私にとっては初めてだったので、思っていた以上に種によって特徴が分かれていることに気づき、驚きました。夏休みに行われた白神フィールドワークで学んだことが今回のイベントに活かせたので良かったです。また、小学生とともに楽しみながら自然に触れられ、より自然に興味を持つことができたので良い経験となりました。

（1年普通科 石井心羽 長町中出身）